

(東証スタンダード:9029)

株式会社ヒガシホールディングス IRセミナー

2026年8月29日

1

会社紹介

2

成長戦略

3

2027年3月期 第1四半期決算概要

4

株主還元



ヒガシホールディングス

HIGASHI HOLDINGS CO.,LTD.

社名の由来

大阪貨物自動車運輸株式会社を始めとする運送会社13社が統合し、大阪市の旧東区(現在の中央区)において当社の前身である大阪東運送株式会社を設立。
その後、社名変更を経て、現在のヒガシホールディングスに至る。

シンボルマーク

21世紀に向けて大きくはばたく「ヒガシグループ」の姿を5つの扇で表現
オレンジは情熱を、ブルーは安定を表しています。

名称	株式会社ヒガシホールディングス
本社所在地	〒540-0013 大阪市中央区内久宝寺町3-1-9
設立	1944年12月20日
代表者	取締役 代表執行役社長 児島 一裕
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード:9029)
資本金	10億円
グループ 会社	11社
従業員数	連結：1,744名(2026年3月31日現在)



創業期(-1970年代)

- ・1944年 大阪市東区内の運送会社13社が統合し、大阪東運送株式会社設立
- ・1947年 日本生命保険相互会社が資本参加
- ・1968年 倉庫事業を開始
- ・1979年 東京営業所を開設し、首都圏へ進出

事業多角化(1980年-2000年代)

- ・1988年 ドキュメントサービスを開始
- ・1989年 産業廃棄物収集運搬業許可を取得
- ・1996年 ビル内デリバリー事業を開始
- ・2002年 ヒガシトゥエンティワンに社名変更
- ・2003年 福祉用具レンタル及び販売事業を開始
- ・2005年 ジャスダック証券取引所に株式を上場

総合物流企業へ(2010年代以降)

- ・2011年 東京証券取引所市場第二部に上場
- ・2016年 ユートランスシステム(株)をグループ化
- ・2017年 (株)イシカワコーポレーションをグループ化 / (株)トランスポート21を設立
- ・2018年 (株)FMサポート21を設立
- ・2019年 指名委員会等設置会社へ移行
- ・2020年 (株)ワールドコーポレーションをグループ化 / ヒガシオフィスサービス(株)を設立
- ・2022年 山神運輸工業(株) / (株)旅人をグループ化
- ・2024年 (株)ネオコンピタンスをグループ化
- ・2025年 4月:(株)ヒガシホールディングスに社名変更し
持株会社化。中核事業会社として
(株)ヒガシトゥエンティワンを設立
6月:(株)ピアレスをグループ化

特徴的な取組

1968年に業界でいち早く”車両と荷物のマッチングサービス“
(備車制度)を導入し、協力会社を囲い込み

1996年に東京オペラシティビルにデリバリーセンターを開
設、「館内物流事業」の先駆け

1986年にオフィス移転専門部署を設立
2020年に全国でも珍しいオフィス移転専門会社(ヒガシオ
フィスサービス(株))として分社化

2016年にインフラ会社向けとしては珍しい、資材の購入・配給
数の管理・調整業務を、2021年からは電設資材の仕入れ・販
売業務(商社機能)をスタート



経営戦略策定、資源の再配分、グループガバナンスの強化



運送及び倉庫事業全般、3PL事業、IT関連事業、介護サービス事業 等



精密機器の運送及び設置等



【物流】保管、梱包、封入、発送業務
【人材・ITサービス】企業様向け
受託業務



ビル館内における
総務サービス業務



運送事業に特化



引越に関わる荷役及び梱包等



事務所移転業務・引越に関連する
ワンストップサービスの提供



重量物配送・エンジニアリング事業
(機械据付・メンテナンス等)



システムに関する
技術サポート全般



人材派遣事業に特化(※)



ICT機器の導入、保守・運用

※傘下に子会社1社(ネオコム社)を有する

輸配送を祖業としながら
独自性・競争力のある多様な事業展開に
よって、幅広い収益ウィングを確保

一般物流事業



3PL事業



オフィスサービス事業



ビルデリバリー事業



バックオフィス
を支える物流

サプライチェーン
を支える物流

ヒガン
グループ事業

物流ノウハウを活かした
独自サービス

ITサービス事業



介護サービス事業



サプライチェーンを支える物流

一般物流事業

- 輸配送業務、倉庫保管
- 物流加工
袋詰め、検品、組立など物流過程で発生する加工業務
- 産業廃棄物管理
PCB等の特別産業廃棄物の取扱いも可能
- 機密書類保管、機密書類溶解、社内文書物流
(総務系物流)
- 人材派遣(倉庫作業や短期イベント等)

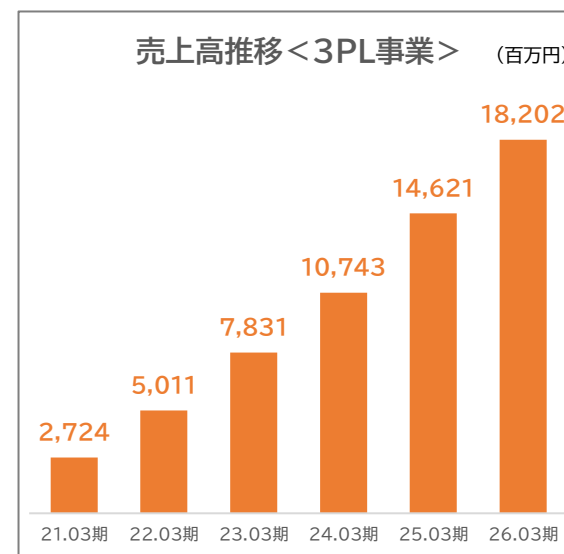


【関連グループ会社】

(株)ヒガシトウエンティワン／ユートランスシステム(株)／(株)トランスポート21／
(株)ワールドコーポレーション／山神運輸工業(株)／(株)ネオコンピタンス

3PL事業

- 大手EC向け入荷、保管、出荷、配送
- インフラ会社向け資材購入、保管、資材加工、配送
- 上記の他、物流業務を包括的に受注する
高度な物流サービス



【関連グループ会社】

(株)ヒガシトウエンティワン

Evolution for Customers

—— 全進で未来へ “シンカ” ——

進化
1

物流に対するニーズの変化への対応

—— 関電ロジネット事業部

一般物流

預かった商品を運ぶ
従来の輸配送業務



3PL

提供された入出荷データに
基づき商品の保管・配送・在
庫管理等をトータルで受託



商社形態

資材の仕入れや
協力会社への販売業務、
受発注システムの開発



バックオフィスを支える物流

オフィスサービス事業

- **オフィス移転**（数千名～5名程度の小規模まで）、
オフィスフロアのレイアウト変更
- 移転に伴う不要什器や備品の買取・廃棄
- 企業の一斉赴任引越・個人引越



虎ノ門アルセアタワー
(提供:日鉄興和不動産株式会社)



Hareza Tower

【関連グループ会社】
株)ワールドコーポレーション／ヒガシオフィスサービス(株)

ビルデリバリー事業

- **館内物流**
- メール室業務(業務代行/メール室への人材派遣)
- ビル内テナント様向け**総務代行業務**
(備品購入代行や印刷物の封入・封緘・発送代行等)



六本木ヒルズ



グラングリーン大阪
(提供:グラングリーン大阪開発事業者)



ツイン21

【関連グループ会社】
株)FMサポート21

Evolution for Customers

—— 全進で未来へ “シンカ” ——

進化
2

競合との差別化

—— (株)FMサポート21

ビルデリバリー事業の競争が激化

- ・ビル管理会社からの固定管理料の削減要請
- ・物流大手のビルデリバリー事業への参入



FM SUPPORT 21



- 固定管理料の大幅な引き下げを実現
(0円で入札に参加することも)
- 利益確保のため、
テナント企業の総務代行業を強化
 - ・ 受付業務、会議室運営
 - ・ オフィス移転
 - ・ 備品の購入代行 等



01 ㈱FMサポート21において新規ビルデリバリー業務を開始いたしました。

株式会社FMサポート21では、近年の都心大規模再開発の機会を捉えた拠点の拡大を着実に進めており、2025年度は東京・大阪で合計8拠点を新規開設、2026年4月からは、ザ・ランドマーク名古屋栄で新たにビルデリバリー業務を開始しております。

<直近開設の拠点>

開始時期	ビル名
2025年 4月	TWIN21MIDタワー（大阪府） 松下IMPビル（大阪府）
5月	赤坂トラストタワー（東京都）
8月	ヒューリック銀座ビル（東京都）
11月	八重洲ダイビル（東京都）
12月	IT tower TOKYO（東京都） 淀屋橋ゲートタワー（大阪府）
2026年 3月	クオーツ心斎橋（大阪府）
4月	ザ・ランドマーク名古屋栄（愛知県）

2025年度に開設した拠点においては、テナント企業の入居に伴う移転や取扱量の増加により売上が伸長しており、なかでも、2025年5月開設の赤坂トラストタワーでは当第1四半期に大型の入居関連案件を受注いたしました。

2025年12月より業務を開始している淀屋橋ゲートタワーは、2026年7月現在、既にテナント入居率8割が見込まれており、今後の取引拡大にも期待ができます。

今後も多様なニーズに応えながら更なる事業拡大とサービス品質の向上に取り組んでまいります。



ザ・ランドマーク名古屋栄



赤坂トラストタワー



淀屋橋ゲートタワー

管理ビル・管理センター一覧

■：東京 ■：大阪 ■：愛知

■六本木ヒルズ	■神谷町トラストタワー	■ニッセイ新大阪ビル
■表参道ヒルズ	■赤坂グリーンクロス	■オブテージビル
■東京オペラシティビル	■虎ノ門アルセアタワー	■グラングリーン大阪南館
■エステック情報ビル	■赤坂トラストタワー	■松下IMPビル
■日本生命丸の内ビル	■ヒューリック銀座ビル	■ツイン21MIDタワー
■アークヒルズ仙石山森タワー	■八重洲ダイビル	■クオーツ心斎橋
■ワテラス	■IT tower TOKYO	■淀屋橋ゲートタワー
■神宮前タワービルディング	■グランフロント大阪南館	■グローバルゲート
■日本生命浜松町クレアタワー	■堂島アバンザ	■ザ・ランドマーク名古屋栄
■ハレザタワー	■新ダイビル	

物流ノウハウを活かした独自サービス

ITサービス事業

- **IT機器(PC・サーバー・業務用スマホ)**のキッティング、現地セッティング、保守・メンテ、データ消去→廃棄までのワンストップサービス
- **POS端末等**のシステム機器の設置・保守・ヘルプデスク対応やITエンジニアの**人材派遣**など、システムに関する技術サポート全般



【関連グループ会社】

(株)ヒガシトウエンティワン／イシカワコーポレーション(株)／(株)旅人／(株)ピアレス

介護サービス事業

- 介護支援事業者様向け**福祉用具レンタル**及び**販売事業**
- 商品配送・現地組立て・自社専用消毒メンテナンス施設での保守修理から不用品の引取りなどのワンストップサービス



【関連グループ会社】

(株)ヒガシトウエンティワン

Evolution for Customers

—— 全進で未来へ “シンカ” ——

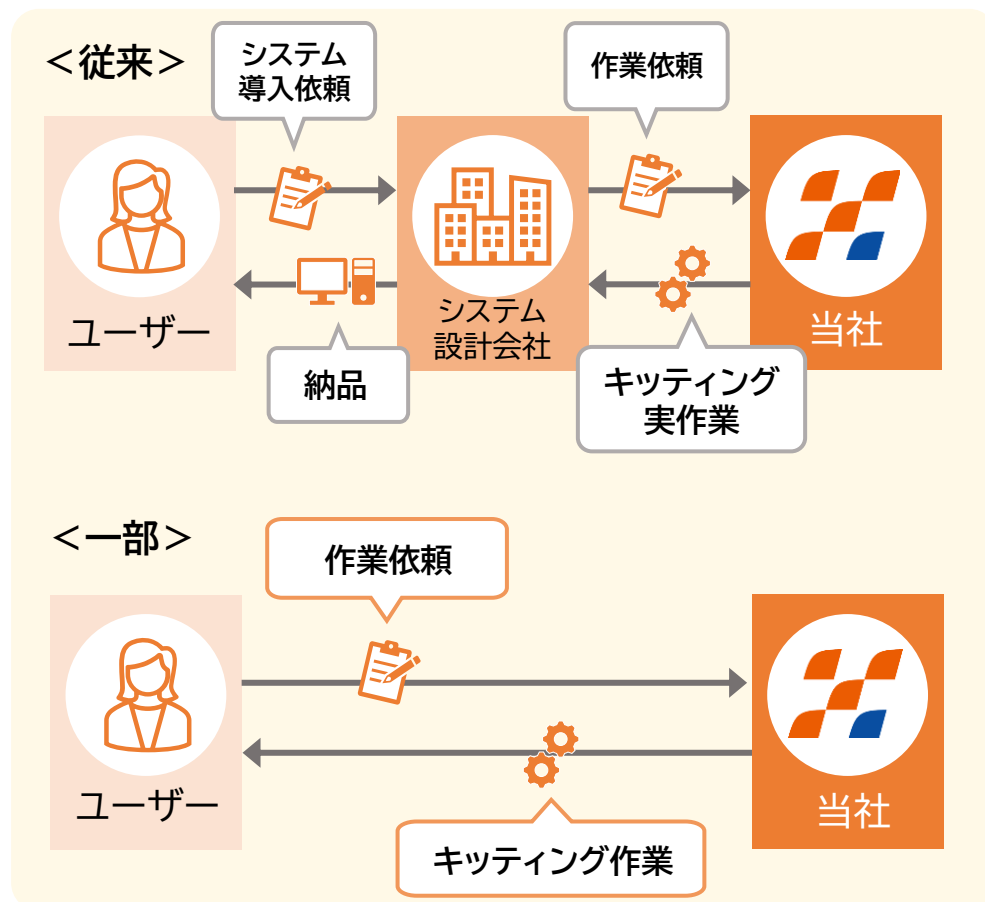
進化
3

商流の変化

—— ITサポート事業部

- 従来の多重下請け構造を、
エンドユーザーからの**直接受注**へ

エンドユーザーの**コスト削減**、当社の**適正利潤確保**を実現

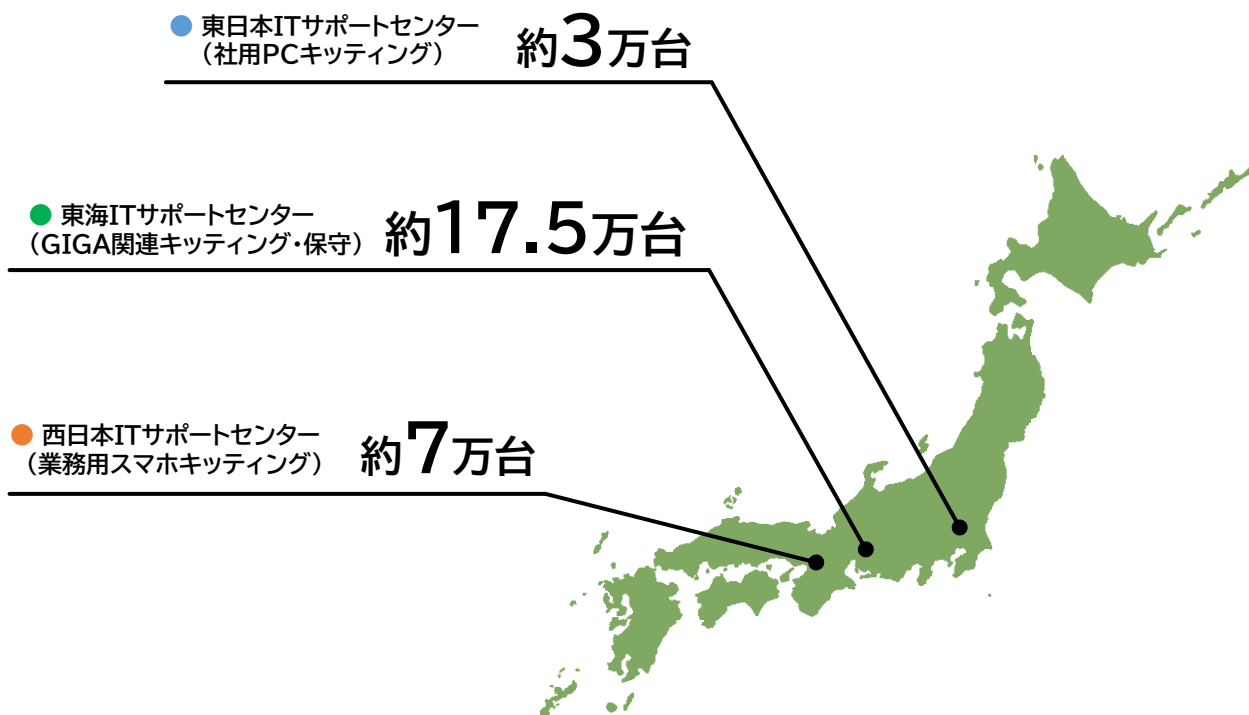


02 ITサービス事業において大型案件を受注いたしました。

株式会社ヒガシトウエンティワンITサポート事業部では、西日本ITサポートセンターにおいて、**約7万台**の業務用スマホのキッティング作業を、東日本ITサポートセンターにおいて、**3万台**を超える社用PCの入替作業を受注しております。

また、当事業部は文部科学省が推進する「**NEXT GIGAスクール構想**」に関連する案件として、全国の教育現場で活用されるICT機器のキッティング業務を2020年より受注しており、本年度は東海ITサポートセンターにおける一部自治体向け案件で、**約17.5万台**の導入作業に加えて5年間の**保守サポート**にも対応いたします。

各案件の受注台数



幅広い分野の大手優良顧客層を安定収益基盤としている

売上順位（2026年3月期）

（単位：百万円）

順位	顧客	売上高
1	大手EC	12,813
2	関西電力グループ	6,558
3	日本生命グループ	5,657
4	大手鉄鋼メーカー	1,916
5	大手POS端末機器メーカー	1,173

~~~~~

|            |       |
|------------|-------|
| 上位10社売上占有率 | 55.9% |
|------------|-------|

日本生命グループ、関西電力グループは主要株主

2026年3月期業績において、大手EC企業は当社売上高の22.1%を占める

2019年～

2020年～

2022年～

2023年～

宅配便サイズの商品の  
フルフィルメント業務開始

長尺物や家電製品の  
フルフィルメント業務開始

スポット便業務開始

幹線輸送(定期便)をはじめ  
とするEC向け輸送業務開始  
関東拠点開設



ドリンク、衛生用品 等の取扱い

長尺物、大型家電 等の取扱い

センター間の輸送を行う

## 「フルフィルメント業務」とは

入荷検品・商品保管・受注処理・ピッキング・検品・梱包・発送等EC業務に伴う一連の業務



大手ECの  
自社センターで対応

コンベアソータで仕分け・同梱、自動梱包可能な商品  
【例】文房具・化粧品・サプリメント



外注対応  
(センター運営を委託)

コンベアソータで仕分けできない  
宅配便サイズの商品  
【例】ドリンク・紙おむつ



川西LC  
坪数 21,866坪  
24時間365日稼働



※LC:ロジスティクスセンターの略

コンベアソータで仕分けできない  
長尺物、家電製品  
【例】冷蔵庫・ゴルフクラブ



北大阪LC  
坪数 5,681坪  
24時間365日稼働





神戸西ロジスティクスセンター  
(兵庫県神戸市)



川西ロジスティクスセンター  
(兵庫県川西市)



鳴尾浜ロジスティクスセンター  
(兵庫県西宮市)

関西 計4拠点

大阪府 1拠点  
兵庫県 3拠点

関東

千葉県 1拠点



流山ロジスティクスセンター  
(千葉県流山市)



北大阪ロジスティクスセンター  
(大阪府茨木市)



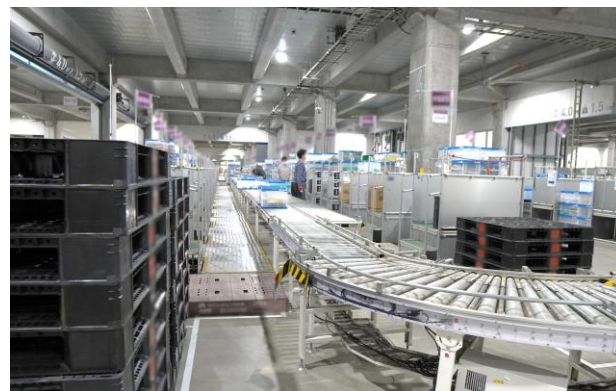
### 03 既存の大手EC向け大型3PLセンター流山LCの増床部分が稼働を開始いたしました。

当センターは 2023年4月の開設以来、大手EC向け大型3PLセンターとして順調に稼働を続けており、この度、3PL事業の業容拡大を受け、増床に至りました。今回の増床により、延床面積は当初の約14,871坪から約29,533坪へとほぼ2倍となり、**当社グループ史上最大規模の3PLセンター**となりました。

なお、増床部分は2026年5月より順次稼働を開始しており、1日あたり最大出荷件数および最大入荷件数が大幅に増加するほか、トラックバース数も拡充し、取扱量の増加や繁忙期における対応力をさらに強化しております。

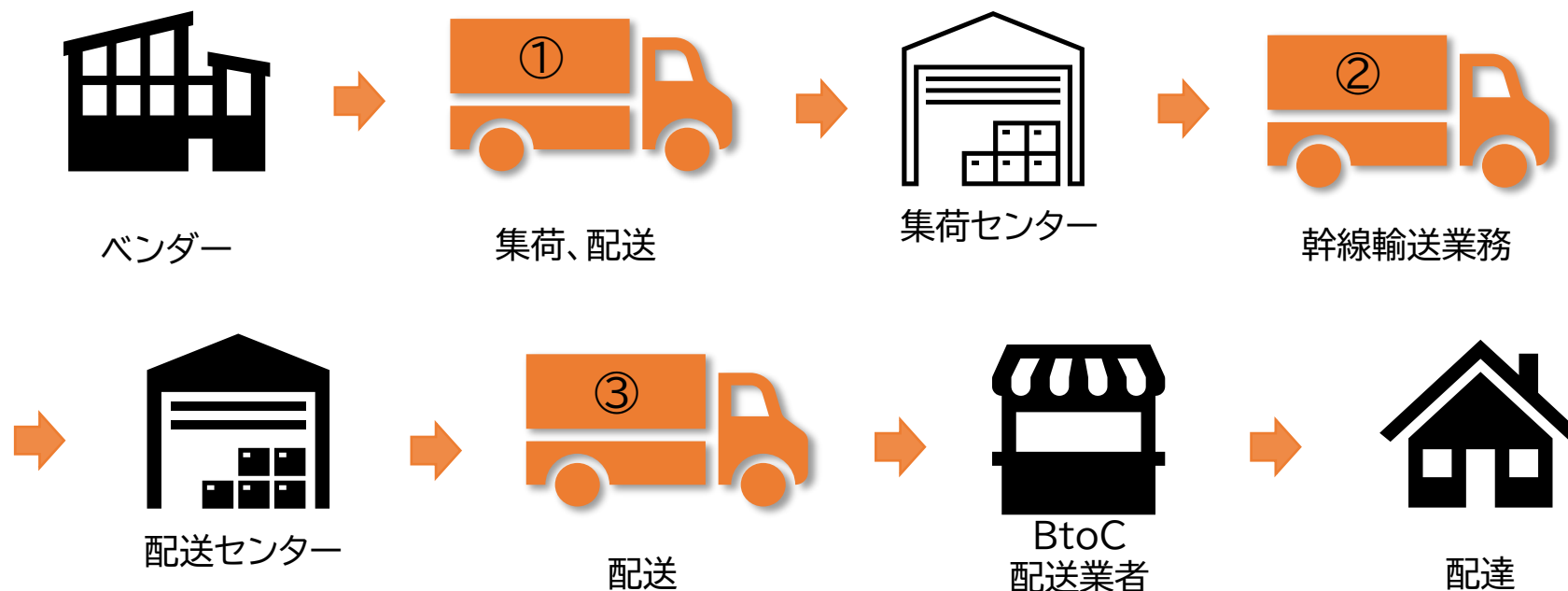
#### ■ 流山LC 増床部分概要

|      |                                                                                             |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 稼働開始 | 2026年5月                                                                                     |
| 所在地  | 〒270-0104<br>千葉県流山市森のロジスティクスパークー丁目383番地11<br><b>常磐自動車道「流山IC」から約2.5km</b><br><b>都心25km圏内</b> |
| 延床面積 | 14,662.8坪<br>(内訳: 倉庫・バース 14,359.00坪、事務所 303.80坪)                                            |



庫内の様子

## 「EC向け輸送業務」

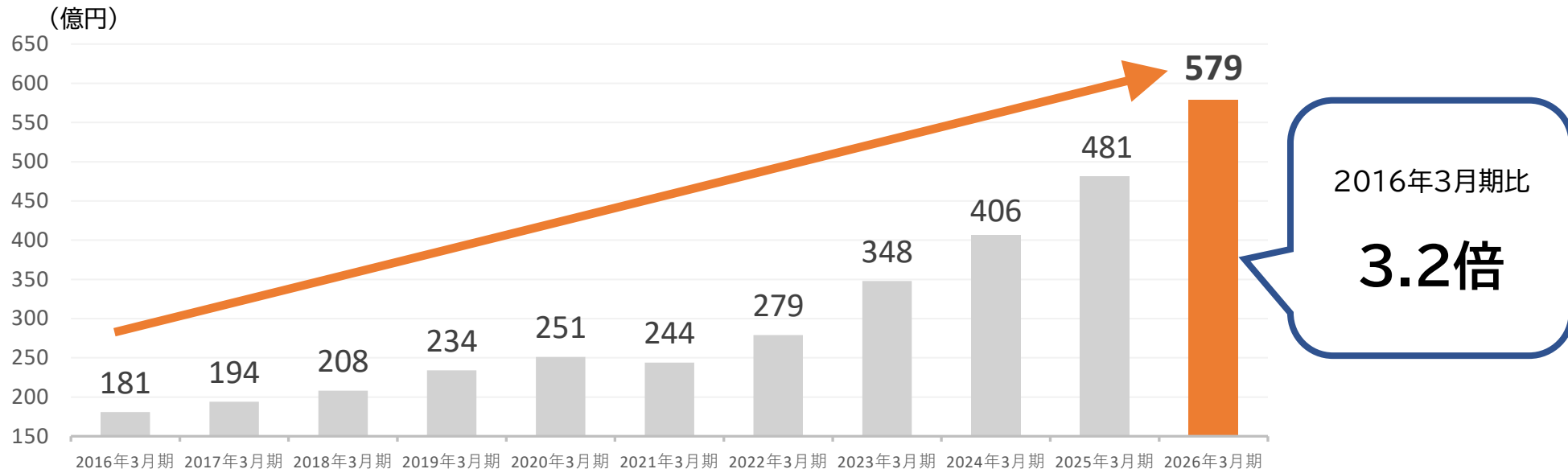


- ①ベンダーへの集荷(2024年～)  
ベンダーの荷物を集荷、大手ECの拠点に配送
- ②拠点間幹線輸送(2022年～スポット便、2023年～定期便)  
大手ECの拠点間輸送を大型車両で行う
- ③BtoC配送業者までの小型配送(2023年～)  
個人宅へ配達するため、BtoC配送業者向けに荷物を配送

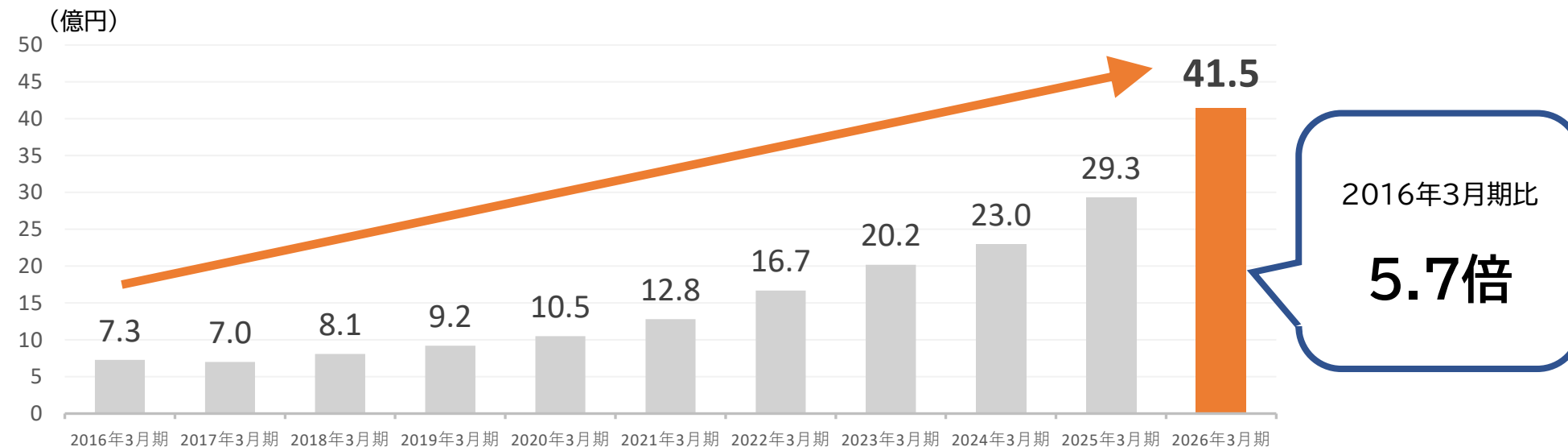
運行数(年間)  
2024年度 25,107便  
2025年度 69,858便  
→**約3倍**の増加

当社が80年間で築いた全国800社以上の協力会社ネットワークを活用

## 売上高



## 経常利益



1

会社紹介

2

成長戦略

3

2027年3月期 第1四半期決算概要

4

株主還元

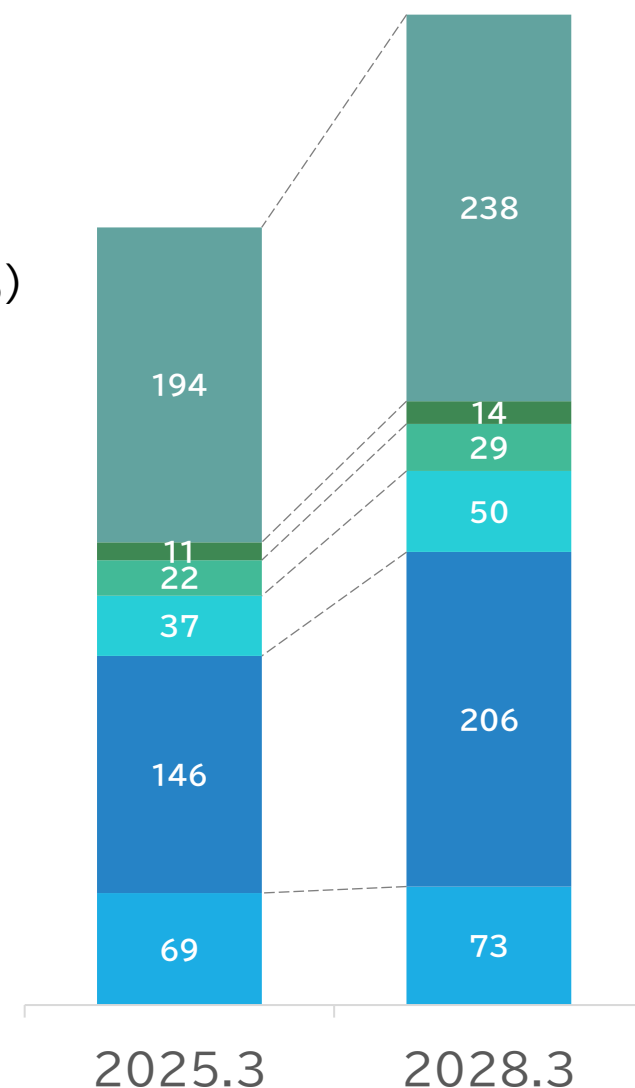
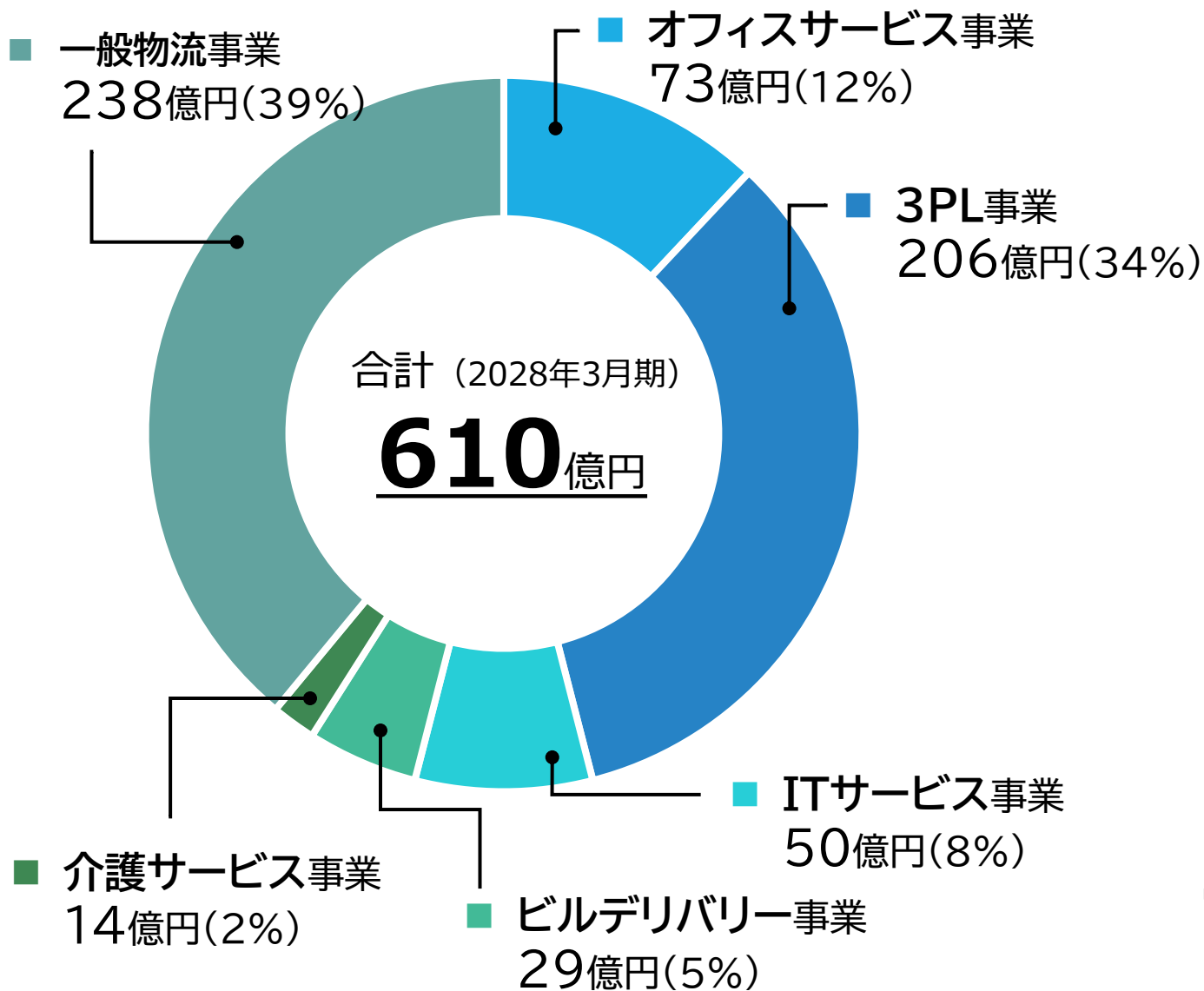
想定を上回る業容拡大の結果、計画初年度となる2026年3月期に当初の業績目標数値を達成したため、  
中期経営計画2028の最終年度の目標数値を**上方修正**

- 本計画では2026年3月期からの3か年を「プライム市場昇格へ向けたファンダメンタルズを完成させる3年」と位置付け、プライム市場昇格という新たなステージを目指す
- 最終年度に向け、各事業領域で事業成長を推進するための投資や、流山LC増床部分の本格稼働、自社大型車両の増車に伴う輸送業務の拡大等により、更なる業績の伸長が見込まれるため、目標数値を売上高610億円、経常利益44億円に上方修正
- 1株当たりの配当金についても、業績の上方修正を鑑み、当初中期計画から9円積み増しし、過去最高額となる66円を予定

## < 経営目標数値 >

|          | 2026年3月期<br>実績 | 2027年3月期<br>予想 | 2028年3月期<br>当初中期計画 | 2028年3月期<br>修正中期計画 |
|----------|----------------|----------------|--------------------|--------------------|
| 売上高      | 579.7億円        | 590億円          | 550億円              | 610億円              |
| 経常利益     | 41.5億円         | 42.5億円         | 35億円               | 44億円               |
| 1株当たり配当金 | 60円00銭         | 62円00銭         | 57円00銭             | 66円00銭             |
| ROE      | 17.6%          | 8%以上           | 8%以上               | 8%以上               |
| 配当性向     | 30.1%          | 30.1%          | 30%以上              | 30%以上              |
| 従業員数     | 1,744名         | 1,800名         | 1,800名             | 1,850名             |

<事業領域別数値目標(売上高)> ※2026年5月 修正後



## 3PL事業

## 大手EC向け業務の収益基盤強化及び 大手インフラ会社資材3PL等、3PL事業の拡大

### 大手EC向け3PL

- 既存LCの安定稼働、収益化及び更なる事業拡大を見据え、「庫内作業標準化」、「データ管理による業務効率化」、「人材採用、人材育成」等を通じ収益基盤強化に取り組む
- 新規倉庫開設に引き続き取り組む

### 大手インフラ会社資材3PL

- 使用システム開発を大手インフラ会社と共同で進め、事業拡大を進めるとともに、技術力を生かした新規取引先開拓に挑む

### その他

- 新規開設の小牧LC(25/2開設・5,127坪)を活かした名古屋地区での3PL業務拡大

## 一般物流事業

## 輸送事業の拡大

- 3PL事業の取引先である大手EC向け輸送業務の拡大
- 首都圏輸送業務の拡大
- 冷蔵・冷凍配送業務への参入

▶冷蔵配送業務への新規参入

オフィスサービス  
事業

## 首都圏マーケットでの事業規模拡大および内装工事等の受注量拡大

- 市場規模拡大が見込まれる首都圏での移転事業の強化継続
- 内装工事(周辺)事業拡大

| 項目           |                  | 基準                        | 適合状況 |                                    |
|--------------|------------------|---------------------------|------|------------------------------------|
| 流動性          | 株主数              | 800人以上                    | ○    | 3,959人<br>(2026年3月31日時点)           |
|              | 流通株式数            | 20,000単位以上                | ○    |                                    |
|              | 流通株式比率           | 35%以上                     | ○    |                                    |
|              | 流通株式時価総額         | 100億円以上                   | ○    |                                    |
|              | 時価総額             | 250億円以上                   | ○    | 260億円<br>(2026年8月14日時点)            |
| 経営成績<br>財政状況 | 収益基盤<br>※いずれかを充足 | 最近2年間の利益<br>合計25億円以上      | ○    | 70億円<br>25年3月期:29億円<br>26年3月期:41億円 |
|              |                  | 売上高100億円<br>かつ時価総額1,000億円 | —    | 売上高579億円<br>時価総額260億円              |
|              | 純資産の額            | 50億円以上                    | ○    | 163億円<br>(2026年6月30日時点)            |

## サステナビリティ経営の強化

- 2021年12月策定のサステナビリティ基本方針に基づき、各種取組を進めている。
- 2023年4月にはサステナビリティ経営の検討と推進を一元的に集約・強化する機能として、社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を設置。

### ESG主要取組

#### E 環境

##### ■ 低公害車導入推進

ヒガシグループ  
低公害車推進プロジェクト



##### ■ エコドライブ推進

##### ■ 気候変動に関する取組と情報開示

##### ■ CO2排出量削減

| 基準年    | 中期目標<br>(2030年度) | 長期目標<br>(2050年) |
|--------|------------------|-----------------|
| 2023年度 | △20%             | カーボン<br>ニュートラル  |

##### ■ 再エネ由来の電力への切替

##### ■ ソーラーパネル設置

#### S 社会

##### ■ 人的資本価値向上への取組

- ・人材育成
- ・人材確保
- ・労働環境整備



##### ■ 安全に対する取り組み

- ・デジタルタコグラフと  
ドライブレコーダー一体型機器の  
導入

##### ■ 社会貢献活動

- ・子どもを軸とした社会貢献活動



#### G ガバナンス

##### ■ ホールディングスによる グループ会社管理

##### ■ 「指名委員会等設置会社」 への移行

##### ■ 経営資源の最適な再配分機能強化

##### ■ 取締役会・委員会実効性評価 による運営強化

1

会社紹介

2

成長戦略

3

2027年3月期 第1四半期決算概要

4

株主還元

2027年3月期第1四半期の連結業績は、売上高151.9億円(対前年増加額 +22.4億円、増加率 +17.3%)、  
経常利益10.8億円(対前年増加額 +2.4億円、増加率 +28.5%)となり、共に過去最高を更新

|                      |             | 2026年3月期 |             | 2027年3月期 |             |        |             |        |        |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|-------------|--------|-------------|--------|--------|
|                      |             | 1Q実績     |             | 1Q実績     |             |        |             | 前年同期比  |        |
| (百万円)                |             |          | 全体に占める割合(%) |          | 全体に占める割合(%) | 上期業績予想 | 業績予想に対する達成率 | 増減額    | 増減率    |
| 売上高                  |             | 12,956   | --          | 15,199   | --          | 29,171 | 52.1%       | +2,242 | +17.3% |
|                      | 売上総利益       | 2,494    | 19.3%       | 2,882    | 19.0%       | --     | --          | +387   | +15.5% |
|                      | 販売費および一般管理費 | 1,684    | 13.0%       | 1,900    | 12.5%       | --     | --          | +216   | +12.8% |
| 営業利益                 |             | 810      | 6.3%        | 981      | 6.5%        | 2,036  | 48.2%       | +170   | +21.1% |
| 経常利益                 |             | 845      | 6.5%        | 1,086    | 7.2%        | 2,136  | 50.9%       | +241   | +28.5% |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 |             | 506      | 3.9%        | 628      | 4.1%        | 1,358  | 46.3%       | +121   | +23.9% |

## ● 売上高

- ・ オフィスサービス事業での、移転業務の大型案件や大口得意先からのIT機器回収案件の受注
- ・ 大手EC向け3PL業務において、流山LC増床部分の稼働開始や既存センターの稼働率上昇による取扱量増加
- ・ ITサービス事業での、大規模な社用PC入替案件や業務用スマホのキitting案件受注
- ・ ビルデリバリー事業でのテナント企業の入居関連案件受注

## ● 経常利益

- ・ 流山LC増床部分の稼働開始に伴う投資費用が発生したものの、上記記載の幅広い事業領域での増収に加え、付加価値の高い業務の受注により増益を達成



流山ロジスティクスセンター

売上高590億円、経常利益42.5億円と、共に期初予想を据え置く

- 人件費をはじめとする物価上昇や中東情勢の影響など先行き不透明な経済環境が継続する中、当第1四半期の通期予想に対する進捗率は、売上高25.8%、経常利益25.6%と、共に堅調な推移を示している
- 引き続き流山LC増床部分の稼働開始に伴う投資費用は発生するものの、グループ全社で各事業領域での更なる業容拡大に取り組み、通期業績について期初予想のとおり売上高590億円、経常利益42.5億円を見込む
- 1株当たりの配当金についても、当初の見込みどおり2026年3月期より2円増配となる62円を予定

| (百万円)           | 2026年3月期 |             |
|-----------------|----------|-------------|
|                 | 通期実績     | 全体に占める割合(%) |
| 売上高             | 57,972   | --          |
| 営業利益            | 4,044    | 7.0%        |
| 経常利益            | 4,150    | 7.2%        |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,602    | 4.5%        |
| 1株当たりの当期純利益(円)  | 199.25   | --          |
| 1株当たりの配当金(円)    | 60.00    | --          |



| 2027年3月期 |             |        |        |             |       |
|----------|-------------|--------|--------|-------------|-------|
| 通期予想     | 全体に占める割合(%) | うち上期   | うち下期   | 2026年3月期との差 |       |
|          |             |        |        | 増減額         | 増減率   |
| 59,000   | --          | 29,171 | 29,829 | +1,027      | +1.8% |
| 4,100    | 6.9%        | 2,036  | 2,064  | +55         | +1.4% |
| 4,250    | 7.2%        | 2,136  | 2,114  | +99         | +2.4% |
| 2,703    | 4.6%        | 1,358  | 1,345  | +100        | +3.9% |
| 206.16   | --          | 103.73 | 102.43 | --          | --    |
| 62.00    | --          | --     | 62.00  | +2.00       | --    |

1

会社紹介

2

成長戦略

3

2027年3月期 第1四半期決算概要

4

株主還元

● 株価推移(2025/4/1-2026/8/14)

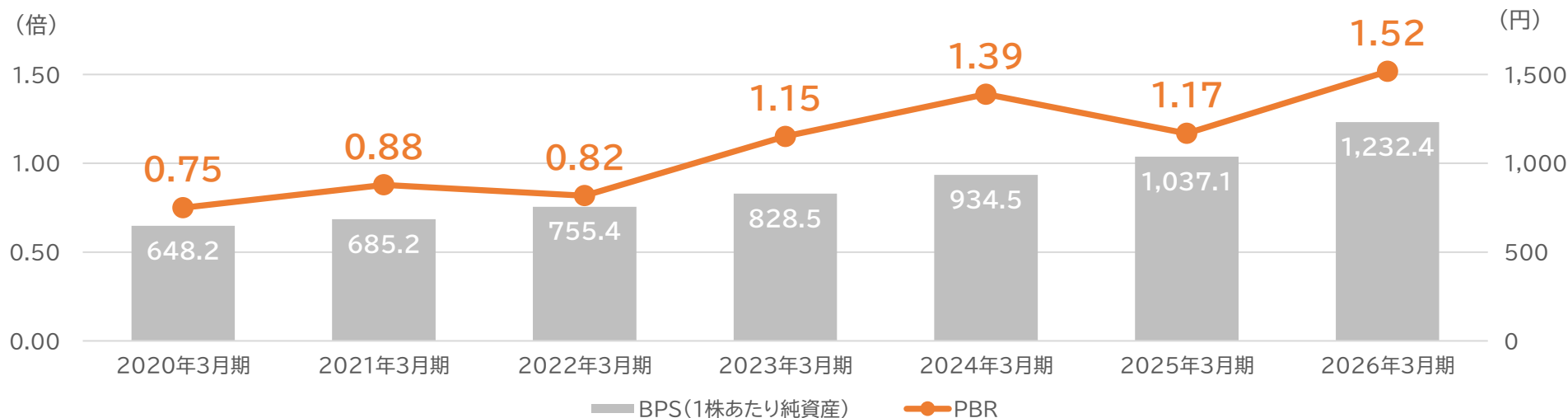


2026年8月14日時点  
株価 : 1,964円  
PBR : 1.59倍  
PER : 9.50倍  
配当利回り : 3.16%

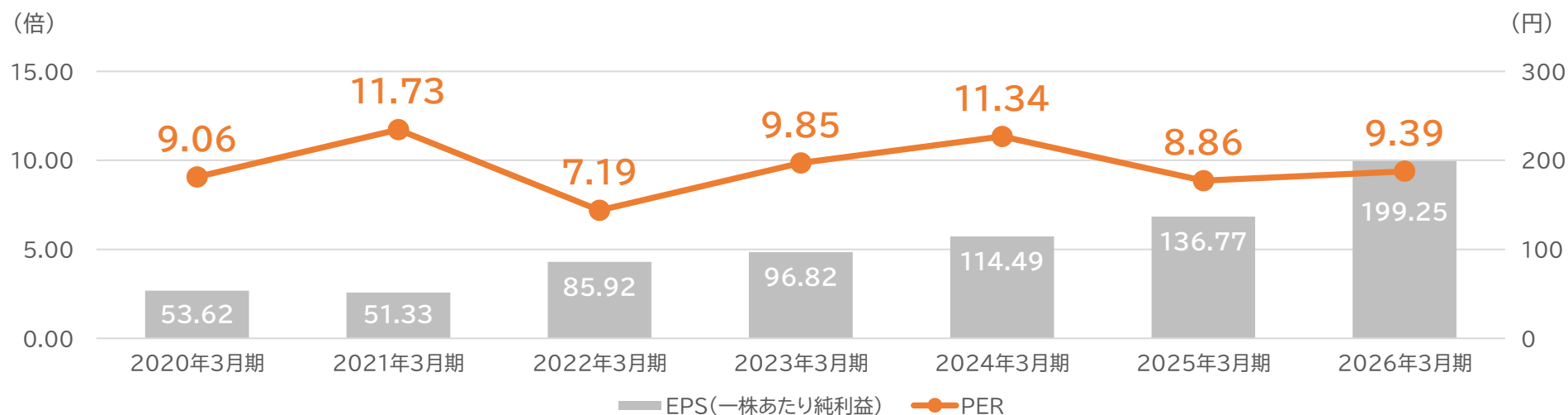
● 時系列株価(年足)

| 年           | 始値    | 高値    | 安値    | 終値    | 前年比  | 増減率    |
|-------------|-------|-------|-------|-------|------|--------|
| 2026(8/14迄) | 1,862 | 2,236 | 1,748 | 1,964 | +102 | +5.5%  |
| 2025        | 1,035 | 2,000 | 999   | 1,862 | +827 | +79.9% |
| 2024        | 1,096 | 1,350 | 890   | 1,035 | -49  | -4.5%  |
| 2023        | 725   | 1,209 | 716   | 1,084 | +366 | +51.0% |
| 2022        | 660   | 732   | 571   | 718   | +78  | +12.2% |
| 2021        | 555   | 825   | 544   | 640   | +82  | +14.7% |
| 2020        | 515   | 703   | 408   | 558   | +41  | +7.9%  |

## ● PBR/BPS



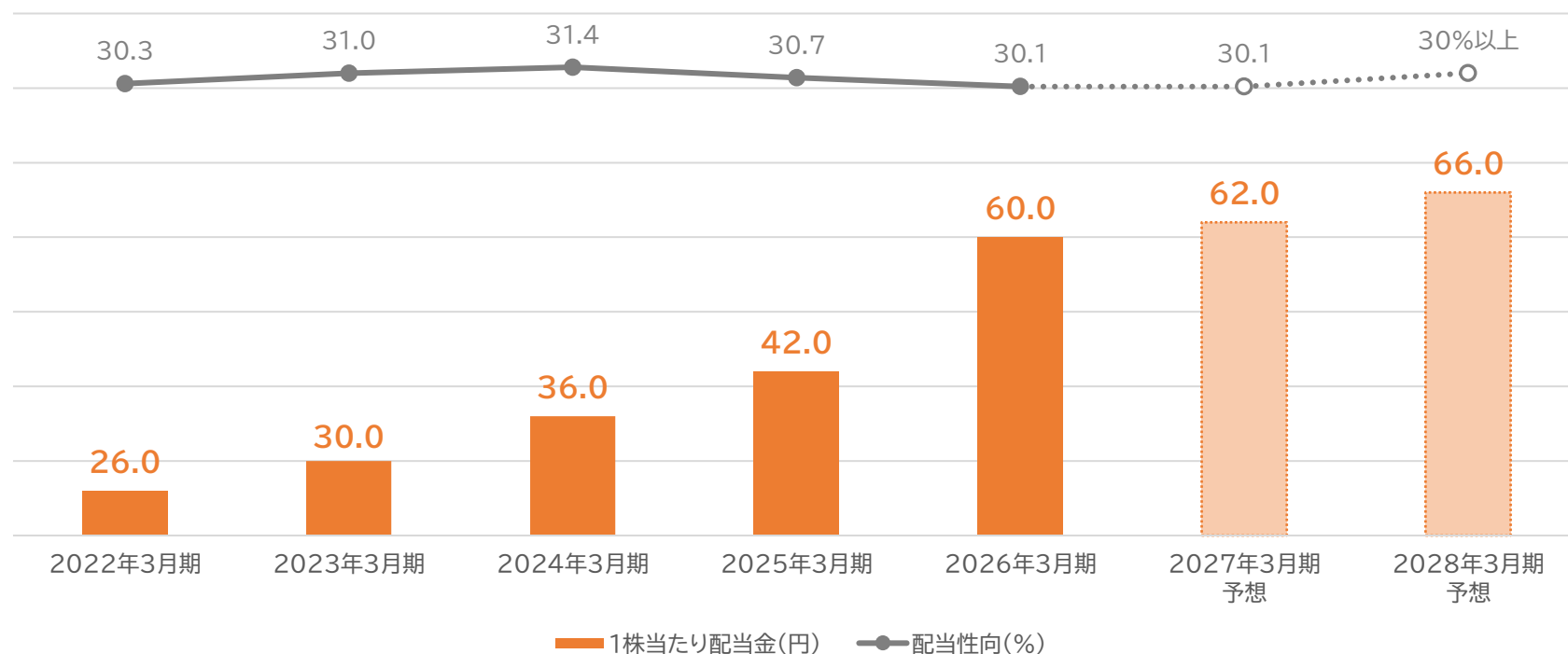
## ● PER/EPS



2026年3月期は前期比+18円となる配当を実施し、5期連続の増配。

- 当社は株主の皆様への利益還元を重要課題の一つとして認識しており、連結配当性向30%以上を目安に、安定かつ継続的な配当を実施していく方針
- 2027年3月期配当予想は前期配当60円から2円積み増しし、1株当たり62円を予定

## ● 1株当たり配当金・配当性向の推移



## 制度内容

|        |                                                                                                                                                      |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施回数   | 毎年1回                                                                                                                                                 |
| 基準日    | 毎年9月末日                                                                                                                                               |
| 優待内容   | <div>① 500株以上1,000株未満保有の株主様 ⇒ 1,000円相当のクオカード</div> <div>② 1,000株以上2,000株未満保有の株主様 ⇒ 2,000円相当のクオカード</div> <div>③ 2,000株以上保有の株主様 ⇒ 4,000円相当のクオカード</div> |
| 長期保有特典 | 500株以上を1年以上継続保有の株主様 ⇒ 1,000円相当のクオカード                                                                                                                 |

## 1,000株保有時の計算例（2027年3月期予想 / 予想通りの配当62円の場合）

※1 配当日は2027年7月：62円予想/株

※2 株価は2026年8月14日基準：1,964円/株

### ● 株主優待除く

$$\frac{\text{受取配当金}}{62\text{円}^{\text{※1}} \times 1,000\text{株} = 62,000\text{円}} \div \frac{\text{投資金額(時価)}}{1,964\text{円}^{\text{※2}} \times 1,000\text{株} = 1,964,000\text{円}} \times 100 = 3.16\%$$

### ● 株主優待込み

$$\left( \frac{\text{受取配当金}}{62,000\text{円}} + \frac{\text{受取株主優待}}{2,000\text{円}} + \frac{\text{1年以上保有の場合 長期保有特典}}{1,000\text{円}} \right) \div \frac{\text{投資金額(時価)}}{1,964,000\text{円}} \times 100 = 3.31\%$$

ご参考：プライム市場の株式平均利回り 1.94% / スタンダード市場の株式平均利回り 2.65%  
※東京証券取引所公表資料(2026年7月末時点)

### (注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

### ■コーポレートサイトおよびその他SNS

<https://www.e-higashi.co.jp/>

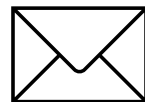
その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください！！



公式Xはこちら  
@Higashi\_HD



公式noteはこちら  
ヒガシHD(9029)



IRメール配信のご登録はこちら